

—進路部通信—

# 新宿通信

NO. 59

令和2年11月18日  
東京都立新宿高等学校  
進路指導部

- 志望校決定と今後の過ごし方（3年）
- 赤本ルール
- 中間考查2
- 共通テストチャレンジ（1・2年）

## 思えば奇妙な人生です

化学科 川原井 康夫

奇妙で幸運な人生を過ごしています。出生地がアメリカ、2月29日に生まれたので、4年に1度しか誕生日が来ません。予定日の一ヶ月も前に、母親の胎盤が外れ、産まれたことも幸運だったようです。44歳ですが、乳歯が1本あります。父親の仕事の関係で、小学生の三年間、ムスリム以外に入国制限のあるサウジアラビアに住んでいました。

サウジアラビアでの体験は強烈で、今も時々頭の中でアザーンが流れます。中東の歴史などに興味を持ち、中学高校で数十冊の関連本を読みました。東京外語大学でアラビア語を学ぶつもりでしたが、あまりにも英語の成績が悪く挫折し、一番成績の良く興味があった数学科を志望しました。教師になろうと思っていましたが、物理科だと数学と理科の免許が取れると知り物理科へ志望変更、最終的には高校教科書には記載されていない化学の理論を理解したくなり、化学科へ志望を変えました。化学科へ進学すると、研究者や国家公務員などにも興味が出て、教職課程も取りつつ、大学院修士課程まで在学しました。就職活動もそれなりに順調で、超一流といわれる企業の内定寸前までいきましたが、訳あって辞退。教職の道へ進みます。進路はその時の考え方と能力、偶然で変わるのでした。

多くの生徒の人生に関わってきましたが、最初に進路指導したのは二つ年下の弟で、浪人して獣医になりました。現役のとき獣医学部は全て不合格で、他の学部に進学する予定でした。進学する気だった弟を引き留め、両親にお願いをして浪人させました。弟は一年後に獣医学部に合格、博士課程まで進学し、現在は大学で講師を勤めています。しかし、それが正解だったのかわかりません。現役で進学した大学で、なにか大きな経験ができたかもしれません。それが正解の道か、不正解の道かは、わからないのです。実は、私自身が内定辞退した企業は、業績が悪化し外資系に買収されています。教師の道に進んだのは、幸運だったのでしょうか。

中学校、高等学校で選択した学校で人生は変わりませんが、大学で人生は大きく決まります。医者になるには医学部、建築家になるには建築学部にいかなければなりません。折角の人生、興味関心を広げてやりたいことを探しましょう。今は本やインターネットなど、調べる方法はたくさんあります。勉強はしたほうがよく、学校生活は充実したほうが楽しいです。真面目で堅い理系でヲタクだった私が、大学院生時代にとあるバンドに出会い、未だに普通の人間に進化中の私ですが、英語ができないことは今でも後悔し、部活動と学校行事中心だった6年間の中高生活を後悔していません。ゲームやSNSなど誘惑の多い時代になりましたが、本当に大切なことに気が付いてください。ソシャゲに費やす時間や、YouTubeはインスタをなんとなく見ていた時間は、返ってきません。後悔の少ない人生を送りましょう。

## ○ 3年生の過ごし方について

出願校を決めるのに役立つさまざまなデータ冊子が送られてきました。例えば次のようなデータが載っています。活用してください。

- ・昨年の大学学部学科ごとの合否度数分布
- ・併願データ
- ・合格最低点・平均点
- ・入試日カレンダー、ほか

3年生は大学入学共通テスト「確認はがき」の確認も終わり、あとは「受験票」の到着を待つばかり。いよいよ受験当日が近づいてきた感覚はあるでしょうか。

授業では演習が増えてきたかと思いますが、毎回の見直し、復習にしっかり時間を取らなければなりません。演習は解いただけでは何の価値もありません。

さて、皆さんができる大学入学共通テスト対策です。まずは、受験票に試験会場が載っています。冬休み中に、行き方を調べたり下見に行ったりすることをおすすめします。

また、冬休み中、どうしても起きる時間が遅くなってしまって生活のリズムが崩れがちです。しかし、テスト当日は早朝から頭がしっかりと働く状態でなくてはいけません。生活リズムを戻すには最低でも1週間以上かかります。今年度は年明け1月4日から始業ですので、しっかり登校して、朝から勉強できる体を整えましょう。冬休み中も、規則正しい生活を中心掛け、体調管理に気を付けてください。

## ○赤本ルール いったん返却を！

現在、赤本や青本を借りている人は、12月の期末考査が始まるまでに一度返却して下さい。特に長期間借りたままになっている人は確実に返してください。試験期間中に返却の確認をします。

試験終了後、再び借りられますが、12月以降、貸出期間は1泊2日が原則です。受験の追い込みの時期ですから、いろいろな人が

借りたいと思って待っています。借りたら、なるべく早く返すようにしましょう。

赤本は、進路指導資料室、通称「赤本部屋」にもたくさんあります。こちらも貸し出し可能です。廊下の貸出簿に記入して借りてください。

室内には大学毎の資料も置いてあります。こちらは持ち出し禁止ですが閲覧は可能です。3年生だけでなく、2年生も1年生も自由に見ることができます。

### <今年度購入本>

- ・東京大学（文）2冊
- ・東京大学（理）2冊
- ・一橋大学（前）5冊・東工大5冊
- ・農工大2冊
- ・北大（文）1冊・北大（理）1冊
- ・東北大（文）1冊・東北大（理）1冊
- ・都立大（文）1冊・都立大（理）1冊
- ・横国大（文）1冊・横国大（理）1冊
- ・京都大（文）1冊・京都大（理）1冊
- ・名古屋大（文）1冊
- ・名古屋大（理）1冊
- ・大阪大（文）1冊・大阪大（理）1冊
- ・筑波大（前）1冊・筑波大（推薦）1冊
- ・東京外語大2冊・東京学芸大1冊
- ・東京医科歯科大1冊
- ・千葉大（文）1冊・千葉大（理）1冊
- ・埼玉大（文）1冊・埼玉大（理）1冊
- ・茨城大（文）1冊・茨城大（理）1冊
- ・お茶の水女子大1冊・電気通信大1冊
- ・海洋大1冊・早稲田大学（各学部）22冊
- ・慶應義塾大学（各学部）10冊
- ・上智大学5冊・東京理科大学6冊
- ・M A R C H 数冊ずつ・その他有名大数冊

全138冊購入済

借りたら書き込みなどをせず、きれいに使うのは当然のことです。ルール・マナーを守って使いましょう。

## ○中間考査2 迫る

12月に入るとすぐに中間2考査が始まります。3年生は今回が高校生活最後の考査です。気持ちの上ではどうしても受験勉強が気になることと思いますが、最終成績を左右する重要な考査ですので、しっかり準備してください。

1、2年生は来年3月にもう一度考査がありますが、もし不得意科目や、もっと得点を伸ばしたい科目があるなら、今回の考査から早めに対策を立てましょう。前回の考査からは期間が短いので、少しの復習が大きな成果につながります。

## ○大学共通テストチャレンジ2021

### (1・2年生)

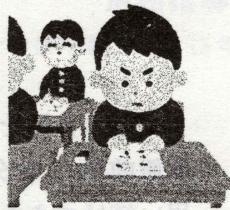
リアルセンターと言ったり、センター同日模試と言ったり、センターチャレンジと言ったり…呼び方はさまざまです。つまりは、2年生や1年生を対象に、センター試験の当日、または一週間遅れで、センター試験と全く同じ問題を解き、どの程度できるかを確認するものです。今年度からは、大学入学共通テストチャレンジと名称が変わります。

ねらいの一つは、本番の試験を実感することで今後のモチベーションアップにつなげることです。1年後、あるいは2年後の自分の姿をイメージしながら取り組んでください。

もう一つのねらいは学習バランスの確認です。試験は出題の8割が教科書レベルの内容です。1年次、あるいは2年次で学習が終わっている科目なら8割の得点が可能なはず。どのくらい得点できたかで、仕上がり具合を確認しましょう。

1・2年生とも全員受験です。今の自分の実力を試す貴重な機会であり、自身の目指す

レベルを体感する機会でもあります。受験後の見直しも含め、しっかり取り組みましょう。



## ○受験0期

### 受験に向けてはやいスタートを！

3年生の一年間に先立って、2年生の秋冬からの時期を「受験0期」と呼びます。2年生は、部活や学校行事の中心となって忙しい毎日ですが、その中でいかに時間を有効活用し、すべきことを精選して取り組んでいくかが重要です。何より、少しの努力でも受験に向けて早く取り組み始めることが何より効果的です。

具体的にすべきことは、まずは自身の学習状況の見直しです。毎日の予習・復習はしっかりとできていますか。授業には集中できていますか。できていないとすれば、それは生活リズムを見直すべきかもしれません。そして、各教科の模擬試験や考査の得点をもとに、自身の目標とする点数と、現在の自分の点数とを比べてみましょう。苦手科目は、1年の教材に戻って基礎を復習してもよいでしょう。自分に必要なことや学習方法については、各教科担当の先生に相談してみましょう。

### 今後の予定

- 実力テスト 11/22日・23月（3年）
- 後期中間2考査 12/8火～11金（3年は12/7月から学年末考査）
- 全校集会 12/25金
- 冬休み 12/28月から
- 特別考査 1/4月（1,2年）

## 30回生 石川 裕

「人生の目標を持ち、信念をもって頑張るときは頑張り、メリハリのある生活を送る。そして、勉強は朝飯前？」。自分が高校生時代に何を思い、どう進路を決めたか、そして、その後60歳になるまで何を思い続けてきたかを振り返ってみたいと思います。

私は新宿高校を1978年3月に卒業した30回卒業生です。高校に入った頃、将来なりたかった職業は外科医（臓器移植）、ロケット開発者、コンピュータ開発者でした。高校3年生になると『科学朝日』という雑誌でマイコンの記事が掲載されるようになり、「コンピュータを開発したい！」と強く思うようになりました。ここで1年間浪人して大学に行くようでは世の中の潮流に置いてきぼりにされてしまう、ともかく現役で大学に行き大規模なコンピュータを作りたい！という気持ちが日に日に増していくのです。そんな折、慶應義塾大学への推薦入学の話があり、高校からの推薦で慶應義塾大学工学部に進学しました。その後博士課程に進み、学位取得後は当時の通商産業省工業技術院電子技術総合研究所で約13年間、東京大学理学部情報科学科で約12年間勤めました。そして2014年からは、理化学研究所でスーパーコンピュータ「富岳」開発のプロジェクトリーダーを務めています。このように大学生時代にコンピュータの研究を開始して以来、貫してコンピュータに関する研究・開発に携わってきました。

私という人間は、「趣味は仕事です」という分類に含まれるわけで、「好きなことを仕事にしていいですねえ」とよく人に言われます。しかし、周りから見ると好きなことを仕事にしているように見えても、実際には現在のプロジェクトリーダーの職務自体は好きではありません。私は生涯プログラマーに憧れおり、開発現場全体を見渡して調整する作業が必要なリーダ職よりも、現場でソフトウェアを設計し、自らプログラムすることを好んでいます。プロジェクトリーダーを目指していたのではなく、自分がやりたいことをするためにプロジェクトリーダを務めないとけなかつたというのが実態です。なので、リーダの仕事をしながら今でも自らソフトウェアの開発をしています。

自分の信念を貫くために、寝食家事（現在単身赴任中）と健康維持のためのウォーキング時間以外は、リーダとしての仕事とソフトウェア開発にほぼ時間を費やしています。あ、家事、特に料理は雑用として捉えておらず、これも趣味にしています。単身赴任先ではぬか漬け、梅干し、ラッキョウ漬けなどにも挑戦しています。ウォーキングも神戸の街並みを堪能できるようコースを変え、息抜きの一つとしています。季節折々の街並みを見るのも楽しいですね。最近は朝食前にソフトウェア開発とウォーキングをしています。頭がリフレッシュし、ウォーキング中に問題点の解決方法が閃くこともあります。

最後に後輩のみなさんに向けてひと言。大学に入ることやいろいろな資格をとることは人生の目標に向けた一里塚と捉え、今、頑張らなければいけないことをしっかりとやってください。信念をもって何かを決めたときは愚直に突き進みましょう。でも、本当にうまくいかなくなったら方向修正することも重要です。そして1番重要なこと（今は受験勉強ですね）は朝早く起きて、朝飯前にしてみてはいかがですか？

「先輩方の言葉」は、新宿高等学校同窓会である「朝陽会」の方々のご協力で、毎号卒業生からご寄稿をいただいています。社会で活躍される皆さんのが貴重なメッセージです。  
進路を考えるときに、ぜひ参考にしてください！